

令和4年度第3回太宰府市総合戦略推進委員会会議録
(まちづくりビジョン会議)

1 開会及び閉会に関する事項

- 1 日 時 令和4年11月1日(火)
午後3時00分開会
午後4時30分閉会
- 2 場 所 太宰府市役所3階 庁議室

2 委員出席者

委員 長	八 尋 茂 雄
副委員 長	八 尋 和 郎
顧 問	福 留 大 士
委 員	青 山 博 秋
委 員	池 田 昌 太
委 員	大 西 良
委 員	小 川 祥 平
委 員	日下部 寛 行
委 員	杉 春 華
委 員	施 光 恒
委 員	高 尾 忠 志
委 員	竹 下 盛 人
委 員	松 澤 尚 史
委 員	森 憲 太郎
委 員	柳 瀬 隆 志

3 執行部

市 長 部 局：楠田市長・原口副市長・山浦総務部長・
村田総務部経営企画担当理事・轟経営企画課長

4 議題

- (1) 令和3年度市民意識調査について
- (2) 令和3年度決算について
- (3) まちづくりビジョン会議グループの進捗状況について

5 概要

議題（1）令和3年度市民意識調査について

議題（2）令和3年度決算について

<事務局説明>

- ◆ 令和3年度市民意識調査の結果の概要及び令和2年度市民意識調査で頂いた意見への対応の概要を報告。総じて高い評価を頂いている。
- ◆ 令和3年度決算の概要を報告。ふるさと納税、市税、各種財政指標など財政は全般に大きく改善している。
- ◆ 令和4年度施策評価（令和3年度事後評価）の概要を報告。総合戦略の31の施策を自己評価しており、今後のビジョン会議の議論の参考になるのではないかと考えている。

<委員意見・提案>

- ◆ 市民意識調査について、年代別に整理できれば世代別の特徴や意見の違いが見て取れるのではないかと。
- ◆ ビジョン会議で出された意見が、どのように反映されてどのような結果となったか補足で説明いただきたい。

<事務局補足>

- ◆ 意見について、施策評価シート上で説明がされているものとそうでないものがある。今後、ワーキングも含めて、頂いた意見を整理することも考えたい。

<市長補足>

- ◆ ビジョン会議で作られた総合戦略の項目に沿って市民意識調査を行うようになった。
- ◆ ふるさと納税のクラウドファンディング実施に際しては、ある委員からご協力をいただいた。また、別の委員からは学生に対するSTEAM教育の提案をいただいて連携している。また、別の委員のおかげで古民家を改修したホテルが出来上がり、観光収入が非常に増えた。他の委員にもいろいろなまちづくりの知見をいただき、形になっている。
- ◆ 各グループの中で提言いただいたことがまた予算なり、施策に反映されてくればさらに見えやすくなってくると思われる。

<委員意見・提案>

- ◆ 今年4月から下水道使用料を大きく値下げしたことについて、どうして可能だったのか、またはどのような手続がされたのか、お教えいただきたい。

<委員補足>

- ◆ 水道料金等審議会で、高いと言われてきた料金をいかにして安くするか検討を続けており、コストダウンの意識をもって議論し合ってきたことが大きいと考えている。

<事務局補足>

- ◆ 水道料金等審議会で審議し、水道は、今後の経営状況が厳しいことを踏まえ、現状の維持となった。一方、下水道は、今後10年間の経営状況を推測、数値化して計算し、若干の余地が見込めるということで、市民への還元を考え、改定に踏み切った。

<市長補足>

- ◆ リスクを取るよりも市民へ還元して、多く使用いただくことで、最終的に元が取れるだろうという政治的な決断もあり、審議会にも理解いただいたうえで、進めた。

議題（3）まちづくりビジョン会議のグループの進捗状況について

①行財政改革

<職員グループリーダー説明>

- ◆ 指定管理者の事業者選定方法について、基本的に公募とすることで、改善につながるとの提言をいただいた。その後、公募の検討を行い、非公募の11施設のうち2施設で現在公募を行っている。
- ◆ 多様化する市民ニーズに対して、より効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度の見直しを行い、民間能力を活用しつつ、経費の削減等のみならず住民サービスの向上を引き続き図っていく。
- ◆ 行財政改革を不断に進めていくことは重要であり、その他の案件についても整理を行い、グループ委員に意見をいただきながら、検討を進めていきたい。

<委員グループリーダー補足>

- ◆ 基本公募ということにして、官と民の関係上、厳しいお互いの精査をしながらコストダウンできるところはするし、サービスの向上を目指すところはサービスをする必要があるという提案をし、その結果、今回、幾つか公募での実施に繋がった。
- ◆ 今後、基本をどこに置くかということ念頭に、指定管理者制度をコストは下げながらもサービスは上げていくような制度にしていくことが必要。

②新しい公共

<職員グループリーダー説明>

- ◆ 3回のグループ会議を開催し、自治会施設への支援、生活支援体制整備、総合窓口などについて意見をいただいた。
- ◆ 特に第3回目のグループ会議では、「窓口機能の充実・強化」に議題を絞って意見をいただいた。具体的には、大野城市の総合窓口の状況報告と、太宰府の窓口の現状報告、総合窓口やコールセンターの必要性について議論をした。
- ◆ 委員からは、先進事例の紹介いただいたほか、総合窓口について、若手や女性職員の意見を聞いてはどうかとの提言をいただいた。引き続き、窓口機能の充実・強化について協議を進めたい。

<委員グループリーダー補足>

- ◆ 新しい公共の中では、本当に思いつくもの、様々なものを全て意見として出している状況があり、視点としては、これからの社会に適合した行政の役割という未来的志向と、現在、今に視点を当てたもので進んでいる。
- ◆ これから先という部分では、デジタル社会におけるオンライン申請や、来庁または来庁せずに済む仕組みを議論している。また、委員からの提案で、事務局で大野城市の窓口の視察にいらしていただいた。
- ◆ 既にある市民サービスが市民にきちんと認知されているのか、それから、求めるサービスがそれを必要とする方にしっかり伝わる状況にあるのか、または、市民からの問合せ等が対応できる環境にあるのかという部分も踏まえて、様々な視点から議論を進めている。

<当該グループ委員補足>

- ◆ 老朽化した公民館についての議論を行い、まずは、耐用年数や、緊急に手を打つべき公民館などをリスト化することとなった。また、全ての自治会に公民館が必要なのかという疑問も提起され、5年後、10年後には、44自治会全てが公民館を新しくつくるのではなく、二、三の自治会が協働して公民館を使用したり、公民館ではなくオープンスペースを利用するというアイデアも出ている。

③ニュー太宰府構想

<職員グループリーダー説明>

- ◆ このグループは、「中心市街地の活性化」と「全世代交流拠点の創設の検討」の二つのテーマで議論しており、意見交換を行った。
- ◆ 委員からは拠点ごとの役割整理や公共施設の再編、五条の開発、全世代交流拠点、法人誘致、交通渋滞などについて様々な意見や先進事例の紹介を頂いた。
- ◆ 今後は、公共施設の老朽化や全世代交流拠点、成長戦略であるニュー太宰府構想を整理し、検討を進めたい。

<委員グループリーダー補足>

- ◆ 委員個別に意見をヒアリングして、それが2周したところである。
- ◆ いろいろなアイデアが集まった状態なので、4人で集まって委員相互にディスカッションをしながら中身をもう少し詰めていきたいと考えている。
- ◆ 様々なことが問題、課題として上がってくるので、いきなり何か計画を作るよりは、段階的に、社会実験的に、何かやってみてよさそうであれば修正しながらまた続けていくというアプローチをイメージしていく必要があると考えている。他のグループの話とも大きく関わってくるので、引き続き全体でも意見交換できたらよい。

④世界に羽ばたく人材育成

<職員グループリーダー説明>

- ◆ このグループでは、子ども家庭総合支援拠点、高大連携、太宰府市美術展（仮）について、議論をしており、オンライン会議を開催した。
- ◆ 会議では、民間企業や大学、他市で実践されている人材育成事業など、人材の力を伸ばしていくという観点と、不登校支援や子ども権利条約など、セーフティネットの観点からの意見を頂いた。
- ◆ 高大連携については連携を開始しており、子ども家庭総合支援拠点については、窓口を一本化し連携する体制を構築した。太宰府市美術展（仮）、子ども学生みらい会議については、順調に準備を進めているところである。

<委員グループリーダー補足>

- ◆ 飯塚市の事例を紹介した。飯塚市では、海外ミッションとして、シリコンバレーへの派遣などをしており、まさに世界に羽ばたく経験を小中学生のときに提供している。また、当社で市役所から人を受け入れ、その中でデータ分析や他の自治体の取組などもしている。
- ◆ 人材育成というテーマがかなり幅広なので、もう少しテーマを絞って議論を進めて

いきたいと考えている。

<当該グループ委員補足>

- ◆ 会議では、子供の権利条例の策定のことを提案した。不登校や子供の虐待の問題など、様々な子供たちを取り巻く課題が社会問題化している。子供たちの人権あるいは権利擁護、生きる権利や育つ権利というものをしっかり守っていくということが非常に重要である。
- ◆ こども家庭庁が設置される国の動きとも連携しながら、例えばモデル的な施策を太宰府でできるようなパイプをつくり、事業を展開していく必要があると考えている。

<グループ外委員提案>

- ◆ 太宰府市でも不登校が増えている中で、不登校を減らすために、太宰府市の高齢者を何とか活用していただいて、不登校に対する手当てができないかと考えている。

⑤企業誘致、起業創業支援

<職員グループリーダー説明>

- ◆ 7月28日にグループ会議を開催し、回遊ルートの整備及び滞在型観光の促進、企業誘致・起業創業者支援、梅プロジェクトの3つのテーマについて議論し、様々な意見・提言や先進事例の紹介を頂いた。
- ◆ 委員からの提言を受け、回遊ルートの整備及び滞在型観光の促進、企業誘致、起業創業者支援、梅プロジェクトのそれぞれについて、令和5年度予算編成に向けた準備を進めている。

<委員グループリーダー補足>

- ◆ グループの議論の中で、今までの考え方を変えなければならないのではないかと考えている。
- ◆ 史跡地の回遊については、興味を持って訪れる来訪者は、テーマを持って来ている方がほとんどであるため、テーマ、ストーリーに沿ったアクティビティが必要ではないか。その上で、他市の資源も大いに活用してお金が落ちる仕組みをつくるというようにすることが必要ではないか。
- ◆ また、梅プロジェクトについては、太宰府で取れた梅というのが一番いいのは確かで、それが可能であれば、それに向けて努力をしていくところだが、一方で、一挙に全国の梅を集めるというような考え方も、ある意味では梅のまち太宰府をすごくPRするのではないか。
- ◆ ふるさと納税については、今までは若い人が通信販売のような形で行っており、興味のない人には、なじみが薄いものであったと思う。それが店頭で購入できるような仕組みが開発されつつあり、生活用品として、誰もが払わないといけないお金をそこで払えるような仕組みができれば、縁遠かった人たちが利用するようになる。
- ◆ このようなこともぜひ今後提案して、実現できたらいいと考えている。

<全体に対する委員意見・提案>

- ◆ グループ会議は、皆忙しくてメンバーが揃わないので、意見が残るグループSNSのようなものが運用できればわかりやすいのではないかと考えている。

- ◆ また、思いつく限り意見を出すだけでは駄目で、最終的に実現しないなら意味がないので、一番意見を出してほしい議題に絞っていただけたらいいのではないかと。
- ◆ この委員会は非常に良いと思っている。大くの会議は、直前に資料が送られてきて、当日言いつ放しで、提案しても受け取られていないと思うが、この委員会は経験豊富で知見のある方が多く、それをグルーピングしてきちんと行政のために活用する形がとられており、非常に有効なやり方である。
- ◆ 出てきた意見を言いつ放しではなく、一つ、二つと実現していくことが重要である。外から新しいものが太宰府に提案され、何か新しいことを思いついたら、まず太宰府市に持って行ってみようというような行政になってくれたらいいと思う。
- ◆ 持ち込まれた提案を精査する意味でも、委員会に参加されている有識者の方々に意見を聞いて、きちんと受け止めて判断してやれるような形になっていくと、非常に好循環になってくる。
- ◆ 今回、市民アンケートを見ても、非常にいい方向に向かっていると思うので、ぜひ実現していくためにはどうしていくのか、どれをまず最初に実現するんだという形で進めていただきたいと思う。
- ◆ アイデアレベルで意見を出し合っている状態の議論は、どうしても機能とか物の話でストップしてしまう。新しいものを皆に支持される形で実現していくためには、クオリティーのコントロールが非常に重要になる。
- ◆ ニュー太宰府構想のグループは、ほかのグループよりもタイムスパンが長く、進め方がほかのグループと違うと思うので、進め方はグループごとに使い分けて考えていただけるとありがたい。
- ◆ 昼間の話ばかりなので、太宰府の夜の魅力、観光だけではなくて、生活の質にも係る夜間景観についてももう少し議論ができるといいと考えている。
- ◆ 時間帯を考えて施策を配置して、アイデアを打ち直すのもよいのではないかと。時間と目的、お金のような目的と二つの軸で考えることが、重要と考えている。そこで絞っていくと、議論がまとまりやすくなるのではないかと。
- ◆ 行財政改革についても、今後の議論をどう進めるかというのは非常に難しいところである。施策の重要度や満足度の経過を見ながら、コロナ禍の今の時代の流れを考えながら、指標の全国での位置がどう改善しているのかとかいうのも見ておく必要があると考えている。
- ◆ 行財政はベースになる部分であるので、皆の話も聞きながら進めていきたい。

<市長補足>

- ◆ 就任当時の太宰府市の混乱を使命として立て直してきたところであるが、一方で、具体的な実績を出していかなければならない中で、かねてよりの課題であった中学校の完全給食、水城小学校の建て替え、学業院中学校の建て替えなどをやってきている。
- ◆ その上で、新しくそういうクオリティーが求められるもの、太宰府らしいもの、課題を先進的に解決できるようなもの、こうしたものをこれからまさしくやっていくという順番であることは御理解いただいた上で、しっかり実行に移していきたい。

<委員長総括>

- ◆ グループによって進捗度が違うし、違って当然で、まとめが非常に難しいと思うが、それぞれのグループで、自主的にまとめるよう展開されていると思う。
- ◆ 委員からも具体的に実行可能なようにというようなアドバイスもあったから、それに向けて各グループとも全速力で走っていきたい。
- ◆ とにかく私たち、ここにおられるメンバー、オンラインのメンバーの方含めて、市民、それから職員、一人一人の幸福、ウェルビーイングを求めて、もう一度このウェルビーイングを確認しながら議論を深めていく、展開していくということにしてほしい。

午後 4 時 30 分 閉会